



国立大学法人福井大学 附属国際原子力工学研究所（敦賀キャンパス）

〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番3号  
TEL : 0770-25-0021, FAX : 0770-25-0031

<http://www.rine.u-fukui.ac.jp/>

## ～ベトナムの学生・研究者が来所・交流しました～

10月23日～27日ベトナムの4大学2機関から学生と研究者を招へいし「令和4年度さくらサイエンスプログラム」を実施しました。コロナ禍ということもあり招へい者が実際に日本まで来られるのか懸念もありましたが、学生、研究者等併せて16名が無事来所し、特別講義・基礎実験の体験、施設見学等を行いました。また、原子力工学を学ぶ学生との意見交換や敦賀市内の高校生との交流も行いました。参加者からは「日本の文化や技術を体験し非常に勉強になった。また機会があれば学びに来たい。」や「学生にとって非常に貴重な体験になった。今後よりいっそう協力して研究をする機会が増えることを願っている」など、ベトナムとの交流の発展が期待される意見が寄せられました。研究所としても、ベトナムからの留学生・研究者が増えることを期待しています。



学生との実験の様子



原子力環境監視センター見学



高校生との交流の様子

## 卒業研究中間発表会

工学部機械・システム工学科原子力安全工学コース4年生による卒業研究中間発表会が10月21日に実施され、各自の卒業研究の内容と進捗状況についてのポスター発表が行われました。

参加した25名の学生は、簡潔な説明やポスターの見やすさなどを意識しながら工夫して発表するとともに、教員からの質問を受け、それぞれの研究の課題を発見していました。

この発表会を通して、自分の研究に対する理解度を再確認し、2月の最終発表に向けて研究を進めていくための助言を得ると同時に、発表のスキルを磨く機会となりました。



## PICK UP!!

今回は、原子炉物理学部門のローイエン准教授をご紹介します。



私は「数学」を「道具」として原子核と中性子の小さな世界を学び、原子炉という機械はある程度理解できるようになったと思います。しかし、この世の中に数学を使っても理解できない現象はいっぱいあるので、「哲学」を「道具」として、毎日、人間とは何か、人生でどうすればよいか、学んでいます。人生は短いので、一日の時間を有効に使いましょ。

### プロフィール

名前：Van Rooijen, Willem Frederik Geert  
(ファン ローイエン ウィレム フレデリック ヘルト)  
出身地：オランダ ハールレム市  
趣味：バイク、音楽鑑賞、オーディオ（特にスピーカーに興味がある）、漢字の練習、哲学と仏教の勉強  
好物：天下一品  
研究テーマ：原子炉の設計と原子炉の解析：数値計算、原子炉の理論の研究開発  
座右の銘：(仕事)「数学は考えない方がいい」  
(人生)「やってみないと分からない」

## Information

研究所行事のご案内（ホームページでもお知らせしています）

- 2023年2月11日（土）13時～16時 学生と考える原子力防災『令和4年度原子力総合防災訓練報告会』ハイブリッド（会場+ZOOM）で開催します。定員：会場50名 ZOOM50名 市民の皆さまご参加ください。